

授業科目	C言語Ⅱ【前期】		単位／時間	68時間	
開講学科等	情報システム学科2年		担当教員	篠原 章彦	
授業の目的・テーマ	C言語の文法を段階的に学習する実習プログラムを作成・実行し、実践で文法を理解する。また、機能を段階的に追加するプログラムを作成し、実践的なプログラム作成を経験する。				
授業の到達目標	配列、ポインタ、関数呼び出し、構造体、ファイル処理を理解し、これらの機能を用いたプログラムを作成できる。				
授業の計画	1	3h	1年次作業確認 演習5-1 (if) から再開	26	
	2	3h	演習5-1解説 演習5-2 (for)	27	
	3	3h	演習5-2 (for)	28	
	4	2h	演習5-2解説 演習5-3 (do-while)	29	
	5	3h	演習5-3 (do-while) 演習5-3解説	30	
	6	2h	バッファリング説明 演習5-4 (switch)	31	
	7	3h	演習5-4 (switch)	32	
	8	2h	演習5-4解説 演習5-5 (無限ループ、continue)	33	
	9	3h	演習5-5解説 演習6-1 (一次元配列)	34	
	10	2h	演習6-1 (一次元配列)	35	
	11	3h	演習6-1解説 演習6-2 (二次元配列)	36	
	12	3h	演習6-2解説 演習6-3 (文字列)	37	
	13	3h	演習6-3 (文字列)	38	
	14	3h	演習6-3解説 演習6-4 (複数文字列)	39	
	15	3h	演習6-4 (複数文字列)	40	
	16	3h	演習6-4解説 ポインタ復習	41	
	17	3h	演習8-1 (ポインタ)	42	
	18	3h	演習8-1解説	43	
	19	3h	演習8-2 (ポインタ演算)	44	
	20	3h	演習8-2 (ポインタ演算) 演習8-2解説	45	
	21	3h	演習8-3 (ポインタ 二次元配列)	46	
	22	3h	演習8-3 (ポインタ 二次元配列)	47	
	23	2h	演習8-3 (ポインタ 二次元配列) 演習8-3解説	48	
	24	2h	前期復習	49	
	25	2h	前期復習	50	
授業の方法	実習				
テキスト	1年次配布 自作テキスト				
参考文献	なし				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、全体で判断する。 1. 授業態度 (20%) 2. 授業進捗 (20%) 3. 期末テストまたは課題提出 (60%)				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○
実務経験	金融機関等のシステム設計・開発・保守の経験を有する。				
実務経験の活かし方	プログラムの効率性、保守性、デバッグ方法や命名規則などについて教え、プログラムの基礎知識を身に付ける。				
履修上の注意事項	動くだけではなく、分かりやすいプログラムを書くこと。				

授業科目	C言語Ⅱ【後期】		単位/時間	99時間		
開講学科等	情報システム学科2年		担当教員	篠原 章彦		
授業の目的・テーマ	C言語の文法を段階的に学習する実習プログラムを作成・実行し、実践で文法を理解する。また、機能を段階的に追加するプログラムを作成し、実践的なプログラム作成を経験する。					
授業の到達目標	配列、ポインタ、関数呼び出し、構造体、ファイル処理を理解し、これらの機能を用いたプログラムを作成できる。					
授業の計画	1	3h	後期説明 演習8-4 (ポインタ 文字列)	26	2h	課題8 (リスト追加・修正) 課題8解説
	2	4h	演習8-4 (ポインタ 文字列) 演習8-4解説	27	3h	課題9 (リスト追加・修正・削除)
	3	4h	演習8-5 (ポインタ配列)	28	4h	課題9 (リスト追加・修正・削除)
	4	4h	演習8-5解説 演習10-1 (構造体)	29	3h	課題9解説 復習
	5	4h	演習10-1解説 演習10-2 (構造体配列)	30	2h	復習
	6	3h	演習10-2解説 演習11 (記憶域)	31		
	7	3h	演習11 (記憶域) 演習11解説	32		
	8	3h	演習12 (プリプロセッサ)	33		
	9	4h	演習12解説 演習13 (ファイル)	34		
	10	3h	演習13 (ファイル) 演習13解説	35		
	11	3h	総合演習説明 課題1 (基本処理)	36		
	12	3h	課題1 (基本処理)	37		
	13	4h	課題1解説 課題2 (文字列長チェック)	38		
	14	3h	課題2解説 課題3 (フリガナ追加)	39		
	15	3h	課題3 (フリガナ追加)	40		
	16	3h	課題3解説 課題4 (整列)	41		
	17	4h	課題4 (整列) 課題4解説 課題5 (ファイル処理)	42		
	18	3h	課題5 (ファイル処理) 課題5解説	43		
	19	4h	課題6 (リスト処理)	44		
	20	3h	課題6 (リスト処理)	45		
	21	3h	課題6 (リスト処理) 課題6解説	46		
	22	3h	課題7 (リスト追加)	47		
	23	3h	課題7 (リスト追加)	48		
	24	4h	課題7 (リスト追加) 課題7解説	49		
	25	4h	課題8 (リスト追加・修正)	50		
授業の方法	実習					
テキスト	1年次配布 自作テキスト					
参考文献	なし					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、全体で判断する。 1. 授業態度 (20%) 2. 授業進捗 (20%) 3. 期末テストまたは課題提出 (60%)					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					○	
実務経験	金融機関等のシステム設計・開発・保守の経験を有する。					
実務経験の活かし方	プログラムの効率性、保守性、デバッグ方法や命名規則などについて教え、プログラムの基礎知識を身に付ける。					
履修上の注意事項	動くだけではなく、分かりやすいプログラムを書くこと。					

授業科目	Windows利用技術Ⅱ		単位/時間	50時間	
開講学科等	情報システム学科2年		担当教員	坂巻 勇	
授業の目的・テーマ	Windows10の操作方法とPCの内部構造を理解させる。				
授業の到達目標	IT系技術者として、Windows10の操作と用途に応じた設定変更ができる。				
授業の計画	1	2h	Windowsの基礎知識	26	
	2	3h	Windows10の基本操作と応用	27	
	3	3h	Windows10の環境設定	28	
	4	3h	Windows10の環境設定	29	
	5	3h	Windows10の環境設定	30	
	6	3h	ユーザアカウントの作成・削除・設定	31	
	7	3h	トラブル症状確認・対応 ネットワーク設定	32	
	8	3h	トラブル症状確認・対応 ネットワーク設定	33	
	9	3h	トラブル症状確認・対応 ネットワーク設定	34	
	10	3h	デバイスドライバのインストール	35	
	11	3h	ソフトウェアのインストール、WindowsとOffice系ソフトウェアのショートカット	36	
	12	3h	バッチファイル作成	37	
	13	3h	ビジネスメール作成 ロールプレイング	38	
	14	3h	ビジネスメール作成 ロールプレイング	39	
	15	3h	PCシステム作成(事前準備)	40	
	16	3h	PCシステム作成(事前準備)	41	
	17	3h	PCシステム レポート作成	42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・実習				
テキスト	なし				
参考文献	パソコン利用技術関連のWebサイト・自作資料など				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 授業内課題				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○	
実務経験	現場にて、新規にパソコンの立ち上げ、リプレース等の経験がある。				
実務経験の活かし方	実際に実機を交えながら、実例を用いて理解を促す。				
履修上の注意事項	口頭での説明が多くなるため、メモを取ることが重要である。				

授業科目	データベースⅡ（前期）	単位／時間	38時間			
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	川村 剛久			
授業の目的・テーマ	関係データベースで必要となる基本的なSQL文を習得する。					
授業の到達目標	SQLの基本的な文法を習得し、データベース操作ができるようになる。					
授業の計画	1	2h	SELECT文実習①	26		
	2	2h	SELECT文実習②	27		
	3	2h	SELECT文実習③	28		
	4	2h	SELECT文実習④	29		
	5	2h	SELECT文実習⑤	30		
	6	2h	SELECT文実習⑥	31		
	7	2h	SELECT文実習⑦	32		
	8	2h	SELECT文実習⑧	33		
	9	2h	SELECT文実習⑨	34		
	10	2h	INSERT、UPDATE、DELETE文実習①	35		
	11	2h	INSERT、UPDATE、DELETE文実習②	36		
	12	2h	INSERT、UPDATE、DELETE文実習③	37		
	13	2h	CREATE TABLE文実習①	38		
	14	2h	CREATE TABLE文実習②	39		
	15	2h	総合演習①	40		
	16	2h	総合演習②	41		
	17	2h	総合演習③	42		
	18	2h	総合演習④	43		
	19	2h	期末演習課題	44		
	20			45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	講義・演習を中心に行う。					
テキスト	無し					
参考文献	情報処理教科書データベーススペシャリスト・データベーススペシャリスト試験過去問題					
評価の方法や基準	複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。 以下の内容を個別に評価した後、総合的に判断し最終評価をつける。 1. 出席率 2. 授業態度 3. 演習課題					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○					
実務経験	コンピュータ業界・自治体関連システムや財務会計システムの開発等の経験を有する。					
実務経験の活かし方	テキストの表現では理解しがたいテーマについて、実例を用いて理解させる。 また、実務経験をもとに必要性や活かし方を説明していく。					
履修上の注意事項	復習を行うこと。またエラー解決などは、積極的に自己解決の努力をすること。					

授業科目	データベースⅡ（後期）		単位／時間	54時間	
開講学科等	情報システム学科2年		担当教員	橋本 貴之	
授業の目的 ・テーマ	Access2016の基本的な使い方や、実務に応用できる機能を学習する。				
授業の 到達目標	Access2016の以下の操作ができること ・テーブル作成（インポート含む） ・クエリ、フォームの作成				
授業の 計画	1	3h	【基礎】第1章、第2章	26	
	2	3h	【基礎】第3章、第4章	27	
	3	3h	【基礎】第5章	28	
	4	3h	【基礎】第6章	29	
	5	3h	【基礎】第7章	30	
	6	3h	【基礎】第8章	31	
	7	3h	【基礎】第9章	32	
	8	3h	【基礎】総合問題	33	
	9	3h	【応用】第1章、第2章	34	
	10	3h	【応用】第3章、第4章	35	
	11	3h	【応用】第5章	36	
	12	3h	【応用】第6章、第7章	37	
	13	3h	【応用】第8章、第9章	38	
	14	3h	【応用】第10章、第11章	39	
	15	3h	【応用】総合問題	40	
	16	3h	練習問題	41	
	17	3h	小テスト1	42	
	18	3h	小テスト2	43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	PC実習				
テキスト	よくわかるAccess2016基礎、よくわかるAccess2016応用				
参考文献	なし				
評価の方法 や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1.出席率 2.授業態度 3.授業内課題				
実務経験のある教員による授業科目の場合、 右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○	
実務経験	システムエンジニアとして、防衛・自治体関連のシステム開発に従事。				
実務経験の 活かし方	実業務の中でのデータベースの活用例を実例を交えて説明する。				
履修上の 注意事項	復習を行うこと。またエラー解決などは、積極的に自己解決の努力をすること。				

授業科目	パソコン実習Ⅱ	時間(総時間)	60時間
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	西 次郎
授業の目的・テーマ	Word 2016の基本的な操作方法と応用方法を習得する。		
授業の到達目標	サーティファイWord文書処理技能認定試験3級に合格できるレベルの技術の習得を目指す。		
授業の計画	1	授業説明・ソフトウェアの説明	26 Word文書処理技能認定試験3級練習問題③
	2	Word2010の基礎（操作方法の理解）	27 〃
	3	文字の入力（タイピングの基礎）	28 Word文書処理技能認定試験3級練習問題④
	4	〃	29 〃
	5	文書の作成（文書作成の基礎）	30 Word文書処理技能認定試験3級練習問題⑤
	6	〃	31 〃
	7	表の作成（表の作成方法と応用）	32 Word文書処理技能認定試験3級練習問題⑥
	8	〃	33 〃
	9	文書の編集（文書作成の応用と機能の理解）	34 Word文書処理技能認定試験3級練習問題⑦
	10	〃	35 〃
	11	表現力をアップする機能（機能の理解）	36 Word文書処理技能認定試験3級練習問題⑧
	12	〃	37 〃
	13	ビジネス文章の基礎知識	38 Word文書処理技能認定試験3級練習問題⑨
	14	総合問題①	39 〃
	15	総合問題②	40 Word文書処理技能認定試験3級練習問題⑩
	16	総合問題③	41 〃
	17	総合問題④	42 Word文書処理技能認定試験3級模擬問題①
	18	総合問題⑤	43 〃
	19	総合問題⑥	44 Word文書処理技能認定試験3級模擬問題②
	20	総合問題⑦	45 〃
	21	総合問題⑧	46 Word文書処理技能認定試験3級模擬問題③
	22	Word文書処理技能認定試験3級練習問題①	47 〃
	23	〃	48 Word文書処理技能認定試験3級模擬問題④
	24	Word文書処理技能認定試験3級練習問題②	49 〃
	25	〃	50 Word文書処理技能認定試験3級模擬問題⑤
授業の方法	パソコンを使用した実習		
テキスト/参考文献	FOM出版「よくわかる マイクロソフト ワード2016（基礎）」 サーティファイ「Word文書処理技能認定試験3級問題集」		
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する	○		
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 （業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成）		
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。		
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。		

授業科目	パソコン実習Ⅱ	時間(総時間)	60時間
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	西 次郎
授業の目的・テーマ	Word 2016の基本的な操作方法と応用方法を習得する。		
授業の到達目標	サーティファイWord文書処理技能認定試験3級に合格できるレベルの技術の習得を目指す。		
授業の計画	51	Word文書処理技能認定試験3級模擬問題⑤	
	52	Word文書処理技能認定試験3級模擬問題⑥	
	53	〃	
	54	Word文書処理技能認定試験3級模擬問題⑦	
	55	〃	
	56	過去問題による復習	
	57	〃	
	58	〃	
	59	課題作成	
	60	〃	
	授業の方法	パソコンを使用した実習	
テキスト/参考文献	FOM出版「よくわかる マイクロソフト ワード2016(基礎)」 サーティファイ「Word文書処理技能認定試験3級問題集」		
評価の方法や基準	提出課題、授業態度、出席率		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	運輸系、金融系企業でのシステム管理及び顧客サポート業務、営業事務、一般事務。 (業務に関する仕様書作成や顧客会社との契約書作成、資料作成)		
実務経験の活かし方	上記の経験をもとに、一般ビジネス業務における書類作成や資料作成に必要なソフトウェア知識と、文書作成方法の指導をおこなう。		
履修上の注意事項	文章や数字入力のタイピングスキル向上のため、授業時間以外での練習も心掛けること。		

授業科目	パソコン実習応用		単位/時間	27時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	坂巻 勇	
授業の目的・テーマ	様々なビジネスシーンに合わせた文書やツールを作成し、実務で活用できるよう指導する。				
授業の到達目標	実務で活用できるようになる。				
授業の計画	1	3h	請求書 作成	26	
	2	3h	見積書 作成	27	
	3	4h	グラフの作成	28	
	4	4h	図の作成 (パソコン室)	29	
	5	4h	マニュアルの作成	30	
	6	3h	新製品発表会案内	31	
	7	3h	商品発送遅延に対するお詫び	32	
	8	3h	小テスト結果入力分析表	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	実技を中心に行う。				
テキスト	オリジナルテキスト				
参考文献	-				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価した後、総合的に判断し最終評価をつける。 1. 出席率 2. 授業態度				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○	
実務経験	システムエンジニアとして、防衛・自治体関連のシステム開発に従事。				
実務経験の活かし方	実例を用いて理解させる。				
履修上の注意事項	授業中に理解ができなかった内容は、質問などをし次回の授業までに解決すること。				



授業科目	コミュニケーション		単位/時間	30時間	
開講学科等	情報システム学科2年		担当教員	橋本 貴之	
授業の目的・テーマ	社会人として仕事をしていく上で必要なコミュニケーションスキルを身に付けさせる				
授業の到達目標	以下のコミュニケーションスキルを身に付けさせる ・自身の考えや自身が持っている情報を正確に相手に伝えることができる。 ・相手の考えや相手が持っている情報を正確に聞き取ることができる				
授業の計画	1	3h	オリエンテーション(授業の進め方、ワークショップのルール説明)	26	
	2	3h	ワークショップ(課題解決)	27	
	3	3h	ワークショップ(集団内主張)	28	
	4	3h	ワークショップ(課題解決)	29	
	5	3h	ワークショップ(集団内主張)	30	
	6	3h	ワークショップ(課題解決)	31	
	7	3h	ワークショップ(集団内主張)	32	
	8	3h	ワークショップ(課題解決)	33	
	9	3h	ワークショップ(集団内主張)	34	
	10	3h	ワークショップ(課題解決)	35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	ワークショップ(グループ討議)				
テキスト	なし				
参考文献	ウイネット プレゼンテーション技法、プレゼンテーション技法(指導のてびき)				
評価の方法や基準	出席率、授業態度				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する				○	
実務経験	システムエンジニアとして、防衛・自治体関連のシステム開発に従事。				
実務経験の活かし方	実業務の中でのコミュニケーションの重要性を実例を交えて説明する。				
履修上の注意事項	グループ討議であるため、教員からのアドバイスは控え、学生の積極的な態度を重視する。				

授業科目	プレゼンテーションⅡ	単位/時間	54時間		
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	橋本 貴之		
授業の目的・テーマ	PowerPointを使用して、相手に自身を伝えることの重要性を学ぶ				
授業の到達目標	以下のコミュニケーションスキルを身に付けさせる <ul style="list-style-type: none"> <li>自身の意志を分かり易くPowerPointの資料にまとめることができる。</li> <li>作成したPowerPointの資料を使用し、相手に分かり易く説明することができる。</li> </ul>				
授業の計画	1	2h	オリエンテーション (授業の進め方、グループ分け)	26	
	2	3h	課題作成(会社案内)	27	
	3	7h	課題作成(会社案内)	28	
	4	7h	課題作成(会社案内)	29	
	5	7h	課題発表・振り返り(会社案内)	30	
	6	7h	課題作成(携帯電話新機種紹介)	31	
	7	7h	課題作成(携帯電話新機種紹介)	32	
	8	7h	課題作成(携帯電話新機種紹介)	33	
	9	7h	課題発表・振り返り(携帯電話新機種紹介)	34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	グループでのPowerPoint資料作成と発表				
テキスト	なし				
参考文献	なし				
評価の方法や基準	出席率、授業態度				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○		
実務経験	システムエンジニアとして、防衛・自治体関連のシステム開発に従事。				
実務経験の活かし方	実業務における客先説明の実例を交えて説明する。				
履修上の注意事項	グループ作業であるため、教員からのアドバイスは控え、学生の積極的な作業態度を重視する。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 マネジメント)		単位/時間	24時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	中川 隆	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるマネジメントの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	システム監査概要解説	26	
	2	6h	練習問題 (午前問題)	27	
	3	6h	練習問題 (プロジェクトマネジメント)	28	
	4	6h	練習問題 (ITサービスマネジメント)	29	
	5	4h	練習問題 (監査)	30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 ストラテジ)		単位/時間	21時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	公文 伸二	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるストラテジの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	キャッシュフロー・財務指標	26	
	2	6h	練習問題(午前問題)	27	
	3	14h	練習問題(経営戦略)	28	
	4			29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 コンピュータシステム・アーキテクチャ)			単位/時間	38時間
開講学科等	情報システム学科 2年			担当教員	橋本 貴之
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるコンピュータシステム・アーキテクチャの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	練習問題実施・解説 4	29	
	5	2h	練習問題実施・解説 5	30	
	6	2h	練習問題実施・解説 6	31	
	7	2h	練習問題実施・解説 7	32	
	8	2h	練習問題実施・解説 8	33	
	9	3h	過去問題実施・解説 1	34	
	10	3h	過去問題実施・解説 2	35	
	11	3h	過去問題実施・解説 3	36	
	12	3h	過去問題実施・解説 4	37	
	13	3h	過去問題実施・解説 5	38	
	14	3h	過去問題実施・解説 6	39	
	15	2h	過去問題実施・解説 7	40	
	16	2h	過去問題実施・解説 8	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 情報システム開発)		単位/時間	22時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川久保 あゆみ	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される情報システム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	過去問題実施・解説 1	26	
	2	3h	過去問題実施・解説 2	27	
	3	3h	過去問題実施・解説 3	28	
	4	3h	過去問題実施・解説 4	29	
	5	3h	過去問題実施・解説 5	30	
	6	3h	過去問題実施・解説 6	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 7	32	
	8	2h	過去問題実施・解説 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 組込みシステム開発)		単位/時間	15時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	橋本 貴之	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される組込みシステム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	専門用語解説	26	
	2	2h	過去問題実施・解説 1	27	
	3	2h	過去問題実施・解説 2	28	
	4	2h	過去問題実施・解説 3	29	
	5	2h	過去問題実施・解説 4	30	
	6	2h	過去問題実施・解説 5	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 6	32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 データベース)		単位/時間	30時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるデータベースの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	データベースの基礎	26	
	2	2h	正規化(復習)、非正規化	27	
	3	2h	関係データベースの演算	28	
	4	2h	SELECT文(復習)	29	
	5	2h	CREATE TABLE文	30	
	6	1h	ビューの定義、トリガ	31	
	7	2h	オブジェクトの処理権限	32	
	8	2h	トランザクション制御	33	
	9	2h	DBMSの障害回復管理	34	
	10	2h	分散データベース	35	
	11	2h	データウェアハウス、データマイニング	36	
	12	2h	応用情報過去問題・解説 1	37	
	13	2h	応用情報過去問題・解説 2	38	
	14	2h	応用情報過去問題・解説 3	39	
	15	2h	応用情報過去問題・解説 4	40	
	16	2h	応用情報過去問題・解説 5	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験過去問問題 情報処理教科書データベーススペシャリスト他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				



授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 アルゴリズム)		単位/時間	45時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	中川 隆	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	配列処理(文字列) 1	29	
	5	2h	配列処理(文字列) 2	30	
	6	4h	データ構造 1	31	
	7	4h	データ構造 2	32	
	8	2h	データ構造 3	33	
	9	4h	木構造 1	34	
	10	4h	木構造 2	35	
	11	1h	木構造 3	36	
	12	1h	探索処理	37	
	13	3h	ハッシュ法 1	38	
	14	2h	ハッシュ法 2	39	
	15	2h	整列処理 1	40	
	16	2h	応用整列処理 1	41	
	17	2h	応用整列処理 2	42	
	18	2h	応用整列処理 3	43	
	19	2h	応用整列処理 4	44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 ネットワーク・情報セキュリティ)		単位/時間	37時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	濱渦 昇	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるネットワーク・情報セキュリティの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IPプロトコルスイート	26	
	2	2h	L3SW・ルーティング IP	27	
	3	3h	LAN (IEEE802) L2SW・MAC	28	
	4	2h	HTTP DNS HDCP	29	
	5	2h	SMTP POP IMAP	30	
	6	2h	暗号化 (AES RSA)	31	
	7	2h	デジタル署名 (TLS) PKI	32	
	8	3h	認証方式	33	
	9	3h	ウイルス対策・攻撃手法の種類と対策	34	
	10	2h	本試験過去問題実施・解説 1	35	
	11	2h	本試験過去問題実施・解説 2	36	
	12	2h	本試験過去問題実施・解説 3	37	
	13	2h	本試験過去問題実施・解説 4	38	
	14	2h	本試験過去問題実施・解説 5	39	
	15	2h	本試験過去問題実施・解説 6	40	
	16	2h	本試験過去問題実施・解説 7	41	
	17	2h	本試験過去問題実施・解説 8	42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 春期 模擬試験)		単位/時間	28時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 情報セキュリティ)		単位/時間	29時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	濱渦 昇	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26	
	2	3h	IPアドレス、プロトコル、FW	27	
	3	3h	暗号化とデジタル署名	28	
	4	3h	マルウェア	29	
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30	
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31	
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32	
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33	
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34	
	10	3h	練習問題実施・解説 6	35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 アルゴリズム)		単位/時間	64時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	森下 浩二	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	探索処理	26	
	2	4h	整列処理	27	
	3	4h	文字列操作処理	28	
	4	2h	データ構造 1	29	
	5	2h	データ構造 2	30	
	6	2h	データ構造 3	31	
	7	3h	ハッシュ法	32	
	8	2h	再帰呼び出し	33	
	9	3h	応用整列処理 1	34	
	10	3h	応用整列処理 2	35	
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36	
	12	3h	練習問題実施・解説 2	37	
	13	3h	練習問題実施・解説 3	38	
	14	3h	練習問題実施・解説 4	39	
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40	
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41	
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42	
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43	
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44	
	20	3h	練習問題実施・解説 10	45	
	21	3h	練習問題実施・解説 11	46	
	22	3h	練習問題実施・解説 12	47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	無し				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストIVアルゴリズム編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 オブジェクト指向)		単位/時間	20時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	内藤 正勝	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるC言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26	
	2	1h	プログラミングの基本	27	
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28	
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29	
	5	1h	データ構造の表現	30	
	6	1h	文字列操作のクラス	31	
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32	
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33	
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34	
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35	
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36	
	12	1h	練習問題実施・解説 6	37	
	13	1h	練習問題実施・解説 7	38	
	14	1h	練習問題実施・解説 8	39	
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40	
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41	
	17	1h	練習問題実施・解説 11	42	
	18	1h	練習問題実施・解説 12	43	
	19	1h	練習問題実施・解説 13	44	
	20	1h	練習問題実施・解説 14	45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストV プログラミングC言語編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 春期 模擬試験)		単位/時間	24時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30	
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31	
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32	
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 マネジメント)		単位/時間	24時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	中川 隆	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるマネジメントの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	システム監査概要解説	26	
	2	6h	練習問題 (午前問題)	27	
	3	6h	練習問題 (プロジェクトマネジメント)	28	
	4	6h	練習問題 (ITサービスマネジメント)	29	
	5	4h	練習問題 (監査)	30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				



授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 ストラテジ)		単位/時間	20時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	公文 伸二	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるストラテジの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	キャッシュフロー・財務指標	26	
	2	6h	練習問題(午前問題)	27	
	3	13h	練習問題(経営戦略)	28	
	4			29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 コンピュータシステム・アーキテクチャ)			単位/時間	38時間
開講学科等	情報システム学科 2年			担当教員	橋本 貴之
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるコンピュータシステム・アーキテクチャの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	練習問題実施・解説 4	29	
	5	2h	練習問題実施・解説 5	30	
	6	2h	練習問題実施・解説 6	31	
	7	2h	練習問題実施・解説 7	32	
	8	2h	練習問題実施・解説 8	33	
	9	3h	過去問題実施・解説 1	34	
	10	3h	過去問題実施・解説 2	35	
	11	3h	過去問題実施・解説 3	36	
	12	3h	過去問題実施・解説 4	37	
	13	3h	過去問題実施・解説 5	38	
	14	3h	過去問題実施・解説 6	39	
	15	2h	過去問題実施・解説 7	40	
	16	2h	過去問題実施・解説 8	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 情報システム開発)		単位/時間	22時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川久保 あゆみ	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される情報システム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	過去問題実施・解説 1	26	
	2	3h	過去問題実施・解説 2	27	
	3	3h	過去問題実施・解説 3	28	
	4	3h	過去問題実施・解説 4	29	
	5	3h	過去問題実施・解説 5	30	
	6	3h	過去問題実施・解説 6	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 7	32	
	8	2h	過去問題実施・解説 8	33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 組込みシステム開発)		単位/時間	15時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	橋本 貴之	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題される組込みシステム開発の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	専門用語解説	26	
	2	2h	過去問題実施・解説 1	27	
	3	2h	過去問題実施・解説 2	28	
	4	2h	過去問題実施・解説 3	29	
	5	2h	過去問題実施・解説 4	30	
	6	2h	過去問題実施・解説 5	31	
	7	2h	過去問題実施・解説 6	32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 データベース)		単位/時間	30時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるデータベースの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	1h	データベースの基礎	26	
	2	2h	正規化(復習)、非正規化	27	
	3	2h	関係データベースの演算	28	
	4	2h	SELECT文(復習)	29	
	5	2h	CREATE TABLE文	30	
	6	1h	ビューの定義、トリガ	31	
	7	2h	オブジェクトの処理権限	32	
	8	2h	トランザクション制御	33	
	9	2h	DBMSの障害回復管理	34	
	10	2h	分散データベース	35	
	11	2h	データウェアハウス、データマイニング	36	
	12	2h	応用情報過去問題・解説 1	37	
	13	2h	応用情報過去問題・解説 2	38	
	14	2h	応用情報過去問題・解説 3	39	
	15	2h	応用情報過去問題・解説 4	40	
	16	2h	応用情報過去問題・解説 5	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験過去問問題 情報処理教科書データベーススペシャリスト他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 アルゴリズム)		単位/時間	44時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	中川 隆	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	練習問題実施・解説 1	26	
	2	2h	練習問題実施・解説 2	27	
	3	2h	練習問題実施・解説 3	28	
	4	2h	配列処理(文字列) 1	29	
	5	2h	配列処理(文字列) 2	30	
	6	4h	データ構造 1	31	
	7	4h	データ構造 2	32	
	8	2h	データ構造 3	33	
	9	4h	木構造 1	34	
	10	4h	木構造 2	35	
	11	1h	木構造 3	36	
	12	1h	探索処理	37	
	13	2h	ハッシュ法 1	38	
	14	2h	ハッシュ法 2	39	
	15	2h	整列処理 1	40	
	16	2h	応用整列処理 1	41	
	17	2h	応用整列処理 2	42	
	18	2h	応用整列処理 3	43	
	19	2h	応用整列処理 4	44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 ネットワーク・情報セキュリティ)		単位/時間	37時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	濱渦 昇	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験にて出題されるネットワーク・情報セキュリティの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IPプロトコルスイート	26	
	2	2h	L3SW・ルーティング IP	27	
	3	3h	LAN (IEEE802) L2SW・MAC	28	
	4	2h	HTTP DNS HDCP	29	
	5	2h	SMTP POP IMAP	30	
	6	2h	暗号化 (AES RSA)	31	
	7	2h	デジタル署名 (TLS) PKI	32	
	8	3h	認証方式	33	
	9	3h	ウイルス対策・攻撃手法の種類と対策	34	
	10	2h	本試験過去問題実施・解説 1	35	
	11	2h	本試験過去問題実施・解説 2	36	
	12	2h	本試験過去問題実施・解説 3	37	
	13	2h	本試験過去問題実施・解説 4	38	
	14	2h	本試験過去問題実施・解説 5	39	
	15	2h	本試験過去問題実施・解説 6	40	
	16	2h	本試験過去問題実施・解説 7	41	
	17	2h	本試験過去問題実施・解説 8	42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	応用情報技術者合格教本【技術評論社】				
参考文献	応用情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(応用情報 秋期 模擬試験)		単位/時間	28時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	応用情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の到達目標	応用情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	7h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5			30	
	6			31	
	7			32	
	8			33	
	9			34	
	10			35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				



授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 情報セキュリティ)		単位/時間	45時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	濱渦 昇	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題される情報セキュリティ分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	2h	OSI基本参照モデル・TCP/IP・LAN間接続装置	26	
	2	2h	IPアドレス、プロトコル、FW	27	
	3	3h	暗号化とデジタル署名	28	
	4	2h	マルウェア	29	
	5	3h	練習問題実施・解説 1	30	
	6	3h	練習問題実施・解説 2	31	
	7	3h	練習問題実施・解説 3	32	
	8	3h	練習問題実施・解説 4	33	
	9	3h	練習問題実施・解説 5	34	
	10	3h	練習問題実施・解説 6	35	
	11	3h	練習問題実施・解説 7	36	
	12	3h	練習問題実施・解説 8	37	
	13	3h	練習問題実施・解説 9	38	
	14	3h	練習問題実施・解説 10	39	
	15	3h	練習問題実施・解説 11	40	
	16	3h	練習問題実施・解説 12	41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説				
テキスト	なし				
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストⅡ システムの利用と開発編 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 アルゴリズム)			単位/時間	96時間	
開講学科等	情報システム学科 2年			担当教員	森下 浩二	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるアルゴリズムの分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。					
授業の計画	1	3h	探索処理	26	3h	練習問題実施・解説 16
	2	4h	整列処理	27	3h	練習問題実施・解説 17
	3	4h	文字列操作処理	28	3h	練習問題実施・解説 18
	4	2h	データ構造 1	29	3h	練習問題実施・解説 19
	5	3h	データ構造 2	30	3h	練習問題実施・解説 20
	6	3h	データ構造 3	31	3h	練習問題実施・解説 21
	7	3h	ハッシュ法	32	3h	練習問題実施・解説 22
	8	2h	再帰呼び出し	33		
	9	3h	応用整列処理 1	34		
	10	3h	応用整列処理 2	35		
	11	3h	練習問題実施・解説 1	36		
	12	3h	練習問題実施・解説 2	37		
	13	3h	練習問題実施・解説 3	38		
	14	3h	練習問題実施・解説 4	39		
	15	3h	練習問題実施・解説 5	40		
	16	3h	練習問題実施・解説 6	41		
	17	3h	練習問題実施・解説 7	42		
	18	3h	練習問題実施・解説 8	43		
	19	3h	練習問題実施・解説 9	44		
	20	3h	練習問題実施・解説 10	45		
	21	3h	練習問題実施・解説 11	46		
	22	3h	練習問題実施・解説 12	47		
	23	3h	練習問題実施・解説 13	48		
	24	3h	練習問題実施・解説 14	49		
	25	3h	練習問題実施・解説 15	50		
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説					
テキスト	無し					
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストIVアルゴリズム編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 オブジェクト指向)		単位/時間	32時間		
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	内藤 正勝		
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験にて出題されるC言語の分野の問題に対して、読解・解答が出来る力を養う。					
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。					
授業の計画	1	1h	オブジェクト指向、オブジェクトとクラス	26	1h	練習問題実施・解説 20
	2	1h	プログラミングの基本	27	1h	練習問題実施・解説 21
	3	1h	オブジェクト配列、メンバ変数	28	1h	練習問題実施・解説 22
	4	1h	複数の数値データ属性をもつクラス	29	1h	練習問題実施・解説 23
	5	1h	データ構造の表現	30	1h	練習問題実施・解説 24
	6	1h	文字列操作用のクラス	31	1h	練習問題実施・解説 25
	7	1h	練習問題実施・解説 1	32	1h	練習問題実施・解説 26
	8	1h	練習問題実施・解説 2	33		
	9	1h	練習問題実施・解説 3	34		
	10	1h	練習問題実施・解説 4	35		
	11	1h	練習問題実施・解説 5	36		
	12	1h	練習問題実施・解説 6	37		
	13	1h	練習問題実施・解説 7	38		
	14	1h	練習問題実施・解説 8	39		
	15	1h	練習問題実施・解説 9	40		
	16	1h	練習問題実施・解説 10	41		
	17	1h	練習問題実施・解説 11	42		
	18	1h	練習問題実施・解説 12	43		
	19	1h	練習問題実施・解説 13	44		
	20	1h	練習問題実施・解説 14	45		
	21	1h	練習問題実施・解説 15	46		
	22	1h	練習問題実施・解説 16	47		
	23	1h	練習問題実施・解説 17	48		
	24	1h	練習問題実施・解説 18	49		
	25	1h	練習問題実施・解説 19	50		
授業の方法	講義・練習問題実施及び解説					
テキスト	なし					
参考文献	基本情報技術者試験対策テキストV プログラミングC言語編【TAC】 基本情報技術者試験本試験問題集【TAC】 他					
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。					

授業科目	国家試験対策(基本情報 秋期 模擬試験)		単位/時間	30時間	
開講学科等	情報システム学科 2年		担当教員	川村 剛久	
授業の目的・テーマ	基本情報技術者試験本試相当レベルの問題を解き、各問題に対する解答時間の配分や、現時点での各分野における理解度を確認する。				
授業の到達目標	基本情報技術者試験合格を目標とする。				
授業の計画	1	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 1	26	
	2	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 2	27	
	3	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 3	28	
	4	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 4	29	
	5	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 5	30	
	6	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 6	31	
	7	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 7	32	
	8	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 8	33	
	9	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 9	34	
	10	3h	模擬試験 実施・自己採点及び確認 10	35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	模擬試験 実施・自己採点及び確認				
テキスト	無し				
参考文献	無し				
評価の方法や基準	以下の内容を個別に評価し、総合的に判断する。 1. 模擬試験及び本試験結果 2. 出席率及び授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	理解を深めるために復習を行うこと。				

授業科目	ビジネス実務Ⅱ（担任）	単位／時間	25時間			
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	橋本 貴之			
授業の目的・テーマ	前期には、社会人として仕事をしていく上に最低限必要な知識・マナー・スキルを身に付けさせる。後期では、就職を直前に控えているため社会人として必要な知識・マナーの最終確認を行う。					
授業の到達目標	社会人として以下のスキルを身に付ける。 ・マナー・法令を守った行動ができる。 ・上司・客先に対し、適切な報告ができる。 ・自己管理がしっかりとできる					
授業の計画	1	2h	ビジネスでのマナー（出勤・退勤・遅刻・休暇）	26		
	2	2h	ビジネスでのマナー（スケジュール管理）	27		
	3	2h	ビジネスでのマナー（報告・連絡・相談）	28		
	4	2h	ビジネスでのマナー（メール・電話・SNS）	29		
	5	2h	ビジネスでのマナー（社内文書の書き方）	30		
	6	2h	ビジネスでのマナー（情報セキュリティ）	31		
	7	2h	ビジネスでのマナー（企業コンプライアンス）	32		
	8	2h	ビジネスでのマナー（お金の管理）	33		
	9	1h	ビジネスでのマナー（お客様との付き合い方）	34		
	10	1h	ビジネスでのマナー（会社での人付き合い）	35		
	11	1h	ビジネスでのマナー（出勤・退勤・遅刻・休暇）	36		
	12	1h	ビジネスでのマナー（スケジュール管理）	37		
	13	1h	ビジネスでのマナー（報告・連絡・相談）	38		
	14	1h	ビジネスでのマナー（メール・電話・SNS）	39		
	15	1h	ビジネスでのマナー（社内文書の書き方）	40		
	16	1h	ビジネスでのマナー（情報セキュリティ）	41		
	17	1h	ビジネスでのマナー（企業コンプライアンス）	42		
	18			43		
	19			44		
	20			45		
	21			46		
	22			47		
	23			48		
	24			49		
	25			50		
授業の方法	講義					
テキスト	なし					
参考文献	図解ビジネスでのマナー、就職ハンドブック等					
評価の方法や基準	出席率、授業態度 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する。					
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する						
実務経験						
実務経験の活かし方						
履修上の注意事項	就職に向けて社会人としての自覚を強く持たせる。					

授業科目	ビジネス実務Ⅱ（マナー等）	単位／時間	9時間
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	濱田 恵美
授業の目的・テーマ	人間関係を円滑にするための“知恵”であるマナーの知識を具体的に教えることに加え、演習などを通じて学生の意識を高め、よりよい人間関係を築くために必要なコミュニケーションを身に付けさせることを目的とし、習った知識を日常生活の中で実践することの大切さを徹底させるような授業の進行・運営を心がける		
授業の到達目標	相手を敬い、思いやる気持ちを上手に相手に伝えるためには、どのようにすべきかについても常に考え、配慮ある行動ができる人になれるよう、また社会人に必要なビジネスマナー等を学生のうちに少しでも習得できることで、学生から社会人になることへの不安をなくし、ひいては社会人として自信を持って行動できるよう繋げていくことを到達目標とする		
授業の計画	1	10/18 立ち居振る舞いの基本	26
	2	10/25 来客応対	27
	3	11/1 電話応対	28
	4	11/8 電話応対	29
	5	11/15 電話応対	30
	6	11/22 電話応対	31
	7	11/29 来客応対	32
	8	1/17 来客応対	33
	9	1/24 来客応対	34
	10		35
	11		36
	12		37
	13		38
	14		39
	15		40
	16		41
	17		42
	18		43
	19		44
	20		45
	21		46
	22		47
	23		48
	24		49
	25		50
授業の方法	レクチャー・ロールプレイング		
テキスト/参考文献	日本マナー・プロトコール協会 マナー・プロトコールの基礎知識 / ウィネット 実践ビジネスマナー		
評価の方法や基準	出席率・態度・身だしなみ・演習の取り組み方・筆記テスト・実技テスト 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する		
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する			○
実務経験	金融機関において、受付・来客応対および電話応対等を担当		
実務経験の活かし方	社会人としての必要な心構えやマナーについて、また来客応対や電話応対等の演習に活かす		
履修上の注意事項	挨拶の励行や正しい言葉遣いを身に付けるとともに、適切な態度で授業に臨むことを求める		

授業科目	ビジネス実務Ⅱ（B検）	単位／時間	20時間		
開講学科等	情報システム学科2年	担当教員	橋本 貴之		
授業の目的・テーマ	ビジネスマンとして必要な知識とマナーを身に付ける				
授業の到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格				
授業の計画	1	2h	テキスト第1編1～3章（演習問題）の実施と解説	26	
	2	2h	テキスト第1編4～6章（演習問題）の実施と解説	27	
	3	2h	テキスト第1編7章、第2編1～2章（演習問題）の実施と解説	28	
	4	2h	テキスト第2編3～5章（演習問題）の実施と解説	29	
	5	2h	テキスト第2編6～7章（演習問題）、第3編模擬試験問題の実施と解説	30	
	6	2h	テキスト第3編過去問の実施と解説	31	
	7	2h	テキスト第3編過去問の実施と解説	32	
	8	2h	テキスト第3編過去問の実施と解説	33	
	9	2h	テキスト第3編過去問の実施と解説	34	
	10	2h	模擬問題の実施と解説	35	
	11			36	
	12			37	
	13			38	
	14			39	
	15			40	
	16			41	
	17			42	
	18			43	
	19			44	
	20			45	
	21			46	
	22			47	
	23			48	
	24			49	
	25			50	
授業の方法	演習問題の実施・解説				
テキスト	ビジネス能力検定ジョブパス3級公式試験問題集				
参考文献	ビジネス能力検定ジョブパス3級過去問題				
評価の方法や基準	出席率、期末テスト（60点以上合格） 複数の担当教員が受け持つ科目は、「担当教員ごとの点数×担当教員が受け持つ時間の割合」の合計で計算して評価する				
実務経験のある教員による授業科目の場合、右欄に○を入れ、実務経験と実務経験の活かし方を記載する					
実務経験					
実務経験の活かし方					
履修上の注意事項	問題解説時にはよく話を聞き、理解を深めること。				